

Sustainability

# LCAの先進的な活用に向けて

2050年カーボンニュートラルに向けて、注力市場の選別などにあたり、優先順位を判断する手法がLCA(ライフサイクル・アセスメント)です。

三菱ケミカルグループ(株)は化学業界において先進的なレベルでLCAをマネジメントツールとして活用するため、①基盤確立、②算定対象の拡大、③活用の工夫、を推進しています。これにより、製品・サービスだけでなく、事業や生産拠点といった製品集合体を適正に比較し、カーボンニュートラルに向けて、事業・投資・R&Dなどの「選択と集中」を図ります。

### ①基盤確立に向けて手法を標準化

製品・サービスの環境・社会インパクトならびに、製品・サービスによる環境負荷低減への貢献の適切な定量評価と公表に必要な、製品カーボン・フットプリントの算定手法を標準化しました。

### ②Scope3を含め算定対象を拡大

製品・サービス別のカーボン・フットプリント算定を進めると同時に、算定対象を製品・サービスのライフサイクルを通じた環境負荷削減貢献量や、事業・プロセス・生産拠点別のGHG排出量(Scope1、2、3)へと拡大していきます。

このLCAによる適正な事業活動評価の取り組みを継続することにより得られるノウハウを蓄積し、改良・改善を繰り返しながらLCAツールを進化させ、その活用領域の拡大を図ります。

### ③マネジメントツールとしての活用

将来的には、LCA算定結果を先進的なマネジメントツールとして次の3つの方向性で活用していきます。

- **コミュニケーションの活性化**: 社内外ステークホルダーへの情報発信とそれに対するフィードバックの受信
- **競争力強化**: マーケティング、製品設計、プロセス改良の適正さを裏付けるエビデンスに

- **意思決定プロセスの合理化**: 事業ポートフォリオ管理、投資実行のための判断材料に

これらを総合的に実装することで三菱ケミカルグループの社会への貢献度を定量的に明確化し、新経営方針「Forging the future 未来を拓く」の実現につなげていきます。

### LCAのめざす姿

